

すざわ よしひこ  
諏澤 吉彦

経営学部 教授  
博士(商学) / Master of Business  
Administration(Hons.)・Master of Science  
一橋大学大学院・St.John's University

🏠 ホームページ URL

なし

## 主な研究業績

- "Risk Evaluation Accuracy Using Telematics and Policyholders' Coverage Selection: An Analysis Based on an Equilibrium Model," 『京都マネジメントレビュー』第36号, pp.5-17, 2020年。
- 「分離均衡モデルに基づく公的年金制度と私的年金保険のあり方に関する考察」『保険学雑誌』第644号, pp.107-127, 2019年。
- 「Insurtechによるリスク評価の精緻化と保険選択への影響」『損害保険研究』第80巻第3号, pp.79-100, 2018。
- 「高齢保障システムにおける公的・私的年金ポートフォリオ選択に関する考察」『生命保険論集』第201号, pp.85-110, 2017年。
- "Insurance Business Synergies, Economic Growth and Strategic Planning" *International Journal of Business Environment*, Vol.8, No. 3, pp.191-216, 2016, coauthored with Inoguchi, M., Y. Ma, N. Pope.
- 「医療保障のシステムにおける公・私保障の機能分担」岡田太志編『生活保障システムのパラダイムシフトと生命保険産業』(公益財団法人生命保険文化センター)第5章, pp.79-96, 2015年。
- 「高齢保障のシステムにおける公・私保障の機能分担」岡田太志編『生活保障システムのパラダイムシフトと生命保険産業』(公益財団法人生命保険文化センター)第6章, pp.97-114, 2015年。
- 「保険業規制の国際協調のあり方に関する考察—保険のリスク移転と金融仲介機能に焦点をあてて—」『保険学雑誌』第629号, pp.47-63, 2015年。
- "Principles for Sustainable Insurance: Risk Management and Value," *Risk Management and Insurance Review*, Vol.17, No.2, pp.265-276, 2014, coauthored with Scordis, N. A., A. Zwick, L. Ruckner.
- "The Impact of Insurance on a Sustainable Society Exposed to Natural Disaster Risks" 『京都マネジメント・レビュー』第25号, pp.85-103, 2014年, N.A.Scordisとの共著。
- 「持続的社会に向けた官民パートナーシップによる保険スキームに関する考察」『京都マネジメント・レビュー』第23号, pp.55-70, 2013年, Scordis, N.A.との共著。
- 「国際金融・保険グループの成長と金融・保険監督規制に関する考察」中浜隆編著『国際的保険グループの監督規制』(公益財団法人生命保険文化センター)第2章, pp.29-66, 2013年。
- "Insurance Industry Activity and Economic Development in the Asia-Pacific Region" *AU Journal of Risk Management and Insurance*, No.16, pp.1-16, 2012, coauthored with M. Inoguchi.

## 研究テーマ Research theme

生活保障システムにおける保険事業の役割と  
公的保険との連携のあり方

## 概要 Overview

少子高齢化や大規模自然災害の頻発化をはじめとする状況変化のなか、保険事業が国際社会の安定と持続性のために生活保障システムのなかでどのような役割を果たすべきかについて、保険経済学の視点から探ります。具体的には、持続的社会に不可欠となる生活保障システム・災害補償システムのなかで、民間の保険事業がそのリスク移転・補償機能を有効に発揮し得るための要件を、公的保険との機能分担に焦点をあてて検討するとともに、保険事業の金融仲介機能が、企業・組織による革新的技術開発など持続的社会に向けた諸活動を促進し得るための要件を考察します。これらの分析をとおして、持続的社会の実現に必要な公的保険規制、競争政策および国際協調のあり方を探ります。

生活保障システムのなかでも、わが国を含む多くの市場において、少子高齢化により公的年金と私的年金保険から成る高齢保障システムの重要性が増しているなか、公的年金の財源確保が困難となっており、その結果、私的年金保険への期待が高まっています。このことから、成熟市場において、公的年金制度と生命保険事業が連携し、互いにどの範囲で機能分担しながら、どのような保障を提供すべきかを、市場均衡モデルおよびポートフォリオ理論を応用し、計量分析に基づいて明らかにします。そして、その実現に必要な公的年金制度、保険事業規制、そして保険企業間の競争と協調のあり方を含めた、新たな高齢保障システムモデルを構築し、公的年金制度設計・保険企業経営戦略策定への具体的提言を導くことを目指します。

## 応用分野 Application areas

保険市場・金融市場における公的規制と競争のあり方に関する研究分野、多様な形態をもつ企業・組織のリスクマネジメントのあり方に関する研究分野などに応用が可能です。

## 共同研究等へのニーズ Need for joint research

金融・保険分野での統計・数理・計量経済分析により、さらに進んだ研究が可能となります。